



あいさつは、人とのふれあいや心の通じ合いの第一歩です。より良い人間関係を築くためには、時と場をわきまえた、真心のこもった礼儀正しいあいさつができることが大切です。

市内小中学校では、10月を「あいさつ運動強調月間」として重点的にあいさつ運動に取り組みます。

この機会に、自分のあいさつのあり方などをふりかえり、学校や家庭、職場や地域社会で、みんなが気持ちよくあいさつを交わしましょう。

あいさつ標語

- あいさつは みんなの笑顔 つくるかき (川岸小学校 6年 山本純矢さん)
- あいさつで 気持ちすっきり いい気分 (田中小学校 5年 小口美奈さん)
- あいさつは みんなの心 開くもの (川岸小学校 6年 三沢香奈さん)
- ごめんなさい 素直な気持ちで 仲直り (田中小学校 6年 片倉実穂さん)
- おはようは 気分スッキリ いい気持ち (神明小学校 4年 2部一同)
- 挨拶は 笑顔が生まれる 愛言葉 (湊小学校 5年 中島夏恋さん)
- あいさつは 閉じてる心の 合鍵だ (神明小学校 5年 唐澤秀樹さん)
- あいさつは 友だち増やす 魔法のカギ (湊小学校 6年 味澤汐美さん)
- あいさつで 自分も相手も 上機嫌 (岡谷小学校 5年 高林健さん)
- 先がけて 笑顔輝く あいさつを (長地小学校 5年 2組一同)
- 伝えよう 感謝の心 ありがとう (岡谷小学校 6年 藤森崇美さん)
- あいさつで 広がる広がる 地域の輪 (長地小学校 6年 渡辺雄斗さん)
- あいさつは 言って言われて 気持ちいい (小井川小学校 5年 山田晃世さん)
- おはようで 元気のエール おくれるよ (上の原小学校 5年 増澤寛樹さん)
- あいさつは 心をつなぐ ネットワーク (小井川小学校 6年 千野仁史さん)
- おはようで 今日元気 発進だ (上の原小学校 6年 増沢秀明さん)
- いただきます ごはんすすます うまくなる (岡谷西部中学校 1年 鮎沢朔也さん)
- 友達になりたいから言う おはようと (岡谷南部中学校 2年 小野菜さん)
- 世界一 綺麗な言葉は ありがとう (岡谷西部中学校 3年 成田和正さん)
- 寒い日も あいさつひとつで 暖かい (岡谷南部中学校 2年 並木加奈さん)
- 「こんにちは」 今日元気に Let's Go! (岡谷北部中学校 1年 半坂佳奈恵さん)
- あいさつで 心も体も ポカポカに (岡谷東部中学校 1年 渡辺舞さん)
- 挨拶で 深まる絆 いつまでも (岡谷北部中学校 3年 西山将司さん)
- あいさつは 笑顔を伝える バトンだよ (岡谷東部中学校 2年 北村優香里さん)

みんなが気持ちよく あいさつをしましょー

あいさつ作文

私は、3年生ぐらいの時からあいさつをいしきするようになりました。学校に行く時にいつもえがおまもりたの方に会います。山田さんです。私は山田さんにえがおで「おはようございます。」と言います。そうすると、山田さんも、えがおで「おはよう。」と返してくれます。たまにいっしょについて来てくれます。その時には、山田さんの家もハムスターの話をしたり、バレーボールの話をしたりします。そして、いつも山田さんとわかれる所を決めています。わかれた後、私は、いつも心の中で「朝は、やっぱりあいさつが気持ちいい。」と思っています。だから「私もえがおまもりたの方に気持ちいいあいさつをする事を心がけなければ!!」いつも思います。

学校につくとまだ学校の戸は、開いていません。まってる間に、心の中であいさつチェックをしています。今日はえがおまもりたの方に気持ちいいあいさつができたのか。とか、きちんとあいさつ



村野 亜美

小井川小学校4年1組

朝はやっぱりあいさつ!!

ができたのか、など……。いろいろな事をあいさつチェックとして考えます。あいさつチェックの中で全部◎だったら、明日もそうしようと思います。でも一つでも○や△や×があつたら、そこを明日には直そうといしきをしてあいさつをしています。その後にもあいさつの事をいろいろ考えて、最後には、あいさつのはいくを作ったりします。

たとえば、「あいさつは、心をつなぐもの。」とか「あいさつは、えがおですると、気持ちいいよ。」など……。いろいろなはいくも作ります。そしていつも「あいさつはしっかりとしなきゃあ。」と思います。

あいさつで 明るい社会を



大 小椋
組1年6年小学校原の上

ぼくは、大きな声であいさつをしてコミュニケーションをとる事が、みんなで明るい社会を作るのに大切なことだと思います。

ぼくの通う上の原小学校では、児童会の代表委員会が中心となって、あいさつ運動をしています。毎朝、代表委員会の人が昇降口に立って登校してくる人に、あいさつをしています。気持ち良くあいさつをし

してくれる人もいますが、返してくれない人や、声が小さい人がいると悲しい気持ちになります。

一学期の後半になって、あいさつをする人が減ってきて、話題になりました。そこでぼくたちのクラスでは、しっかりとあいさつをしようと思って、クラス全員があいさつ運動に取り組むことにしました。学校の中の主な場所に、当番が立って、朝「おはようございます」と、大きな声であいさつをしました。

すると、最初はあいさつを返してくる人は少なかったのですが、あきらめずにあいさつを続けたら、だんだんあいさつをする人が増えてきました。その内にぼくの顔を見るとすすんであいさつをしてくれる人が出てきました。だからぼくは、あいさつをするのが楽しくなってきました。あいさつをして顔をよく合わせていると、話しかけやすくなってきたと思います。あいさつの力つてすごいなと思いました。前はあまり話さなかった人にもあいさつをしていたら、よく話すようになりました。

ぼくは、近所の人や、外で出会う人にもできるだけあいさつをするようにしています。ぼくが朝学校に行く時、ぼくたちの登校を見守ってくださいているふれあい隊の方々に会うと、自分から大きな声であいさつをしています。そうするとふれあい隊の方々も「おは

よう。元気がよくていいね」「いつてらっしゃい」など応えてくれます。そんな時、ぼくはうれしくなってふれあい隊の方々と親しくなったような気がします。学校から帰ってきた時、となりの家の人に、「こんにちは」とあいさつをしていると、「大きな声でいいね。」とほめられてうれしい気持ちになります。

今までぼくはあいさつをしてきましたが、大きな声ですると、自分が気持ちいいし、相手の人と心がつうじあう気がします。みんながおたがい大きな声であいさつをして、コミュニケーションをとることが社会を明るくするのに大切だと思います。ぼくはこれからも会う人全員にあいさつをして、コミュニケーションをとり、気持ちいいふんいきを作っていきたいです。

挨拶はどうでもいい! じゃない!



雅生 守屋
組2年3年中学校西部岡

「おはようございます。」この言葉を口にするのは結構勇気が要ります。一年生の時、僕は何だか照れくさくて、なかなか挨拶を自分からする事ができませんでした。

挨拶をしなくちゃいけないし心の中では思っているのにどうしてもできなくて、二年生の時もそんな感じで過ぎてしまいました。

そして三年生、先生たちからも三年生は学校の顔なんだから、後輩たちの見本にもなる様にと言われ、僕の中でも少しずつ考えが変わってきました。毎日の登下校の時には地域の方々が僕たちの為に、貴重な時間を割いてパトロールに立ち、変わらぬ挨拶を優しく投げかけてくれます。それに感謝するためにも、ありがたの代わりに、心を込めて「おはようございます。」と、ちよつとボソボソとしているかもしれないけれど、言える様になってきました。そうしてみると、短い挨拶の言葉の中には色んな気持ちや、うまく表せない相手への思いがたまつていて、それを伝える一番簡単な方法なんだと思える様になってきました。

今まで何だかはずかしいという思いばかりが先に立ってしまったけれど、挨拶をもっと大切にして、自分から元気に声がかげられる様になるのが、これから卒業するまでの僕の課題です。僕の挨拶で、誰かがさわやかな気分になつてくれたとしたら、こんなに素晴らしいことはないと思います。そしてこの輪がどんどん広がって、西中生ってイイよねと言われる学校になつたら、僕たち三年生も、その責任を果たせた事になると思います。